

新入生におすすめの 一冊

La Sainte Bible : traduction nouvelle
selon la Vulgate / par J.-J. Bourassé et P. Janvier ;
approuvée par Monseigneur l'archevêque de Tours ;
dessins de Gustave Doré ; ornementation du texte
par H. Giacomelli

ドレ「ツール聖書」全2巻
(ツール刊、1866年) 大学図書館所蔵



高等部 Senior High School

『いのちより大切なもの』

星野 富弘著 (いのちのことば社)

「いのちが一番大切だと
思っていたころ
生きるのが
苦しかった
いのちより大切なものが
あると知った日
生きているのが
嬉しかった」



この詩を目にしたとき、「生きる」とはどういうことかを考えさせられました。「いのちより大切なもの」を知ることは、自分が自分の力で生きているのではなく、“生かされている”存在だと気づくことから生まれる喜びではないかと思いました。

星野富弘さんは24歳の時に頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。9年という長い入院期間に病室の天井を見つめながら後悔を重ねたそうです。ある日、大学時代の先輩が届けてくれた聖書を開き、ひとつの言葉に出会います。重い心の中に、温かい何かが湧いてくる——そんな感覚を初めて味わった星野さんは、口に筆をくわえて文や絵を書き始めました。そうして紡ぎ出された詩画には、私たちが見過ごしてしまいそうな小さな、けれども大切な事柄が詰まっています。

この本を手にとって、“生かされている”自分を発見してほしいと思います。

高等部教諭 北川 理恵